

令和5年度 第2学年 学年経営計画

学年経営目標

『昴学年～すばるがくねん～』

皆が一つにまとまって進める学年、皆が光り輝けるような学年、可能性を広げていける学年にする

学年目標

達成するための3つの柱：挑戦、思いやり・感謝、継続

- ◇基本的な生活習慣を確立させよう（継続）
- ◇社会や集団のルールを理解し、規律正しく行動しよう（思いやり・感謝）
- ◇積極性や粘り強さを大切にしよう（挑戦、継続）
- ◇思いやりを大切に行動しよう（思いやり・感謝）
- ◇違いを認め、助け合い、協力しよう（思いやり・感謝）

具体的な目標と取組み

項 目	目 標	（目標を達成させるための） 具体的な取組み
学習指導	○学習習慣の定着 ○学習意欲の醸成 ○知識を活用する力の育成 ○思考力・判断力・表現力を高める - 教科指導の推進	・定期考査の学習計画表の作成指導と反省を行う ・連絡帳による提出物や予定の管理をする ・自学自習ノートの継続的に活用する ・ICTの活用により情報収集と整理の機会を作る ・学んだ知識を活用し考えを深める授業設定をする
道徳教育	○自ら考え、整理する力の育成 ○多様な意見を受け入れる感性の育成 ○誠実に問題を考え続ける姿勢の定着	・グループの話し合い活動や発表する時間を多く設定し、様々な価値観に触れる機会を多く作る ・様々な課題に対して、自分自身の問題として向き合い、考えを深める発問を設定する
キャリア教育 （進路学習）	○自己理解と価値観の醸成 ○必要な情報を収集する力の育成 ○自己実現に向け必要な行動力の育成	・自己分析から、興味や価値観を深める機会を作る ・調べ学習を行い、知りたいことを調べるための方法を考え、選択できる課題解決能力をつける ・職場体験学習を通して、多様な生き方に共感し、自らの将来を考え、行動できるようにする
生活指導	○集団での規範意識の育成 ○責任感や忍耐力、主体性の育成 ○想像力の育成 ○いじめの未然防止	・時間厳守を徹底する ・集団生活におけるマナーを学ぶ機会を充実させる ・学校生活全般を通したリーダーの育成をする ・行動の先に起こることを想像させる指導を行う ・アンケートや個別面談の実施する ・全教員が全ての学級に関わる体制作りを行う
特別活動	○コミュニケーション能力の向上 ○集団生活における役割分担 ○自尊感情や自己有用感の醸成	・積極的に挑戦すること支援する体制を作る ・個人ではなく、学級全体としての役割の確認と、それに対する当事者意識や協調性の育成する ・達成感を得られるような行事の計画を立てる
保護者との連携	○報告、連絡、相談の徹底 ○保護者との情報共有と連絡体制	・学年通信やHPによる細やかに情報を発信する ・変化を感じ取り、ご家庭と情報の共有を行う ・学年で情報交換と、支援・連携体制の構築する

第2学年 A 組

学級担任 古賀 旭

1 学級経営目標

- 個性や違いを尊重できる心の醸成と生徒の自己肯定感を高める働きかけを行う。

2 クラス目標（生徒が話し合いで決めたもの）

「個性爆発！ Happy Smile Enjoy Class」

3 具体的な目標と取組み

項 目	目 標	（目標を達成させるための） 具体的な取組み
学習指導	○環境整美と授業準備の徹底により 学習意欲を維持、向上させる。	・ユニバーサルデザインを取り入れた教室整美。 ・教科系の指導の徹底、学活の規律、提出物提出状況表の活用。
道徳教育	○他者の意見を受け止める心の醸成 を行う。	・道徳授業のルール of 徹底。 ・自分の意見を他者に伝える機会を増やし、発表をしやすい雰囲気づくりを行う。
キャリア教育 （進路学習）	○将来のことを念頭に、自分の今と未来の繋がりを常に意識させる。	・何のために行っているかという目的の教示。
生活指導	○規範意識を向上させ、正しい判断の基礎力を身につけさせる。	・係、当番活動を通したグッドリーダー像の共有。誰でもリーダーになれるという情報発信。 ・連絡帳の毎日の返信。双方向のコミュニケーション。
特別活動	○行事を通して、豊かな感性を育てると共に、生徒による主体的な活動を計画し、達成感を味合わせる。 ○委員会活動で活躍する委員をフォーカスし、働くことの気高さを伝える。	・綿密な計画を立て、生徒と教員が共通の思いを持った状態で活躍させる。 ・役割を必ず与え、その役割を周囲のために果たす経験をさせる。
保護者との連携	○子どもの変化や現状を共有し、互いに相談しやすい関係を築く。	・トラブルの時だけでなく、些細な変化がある時も電話や手紙連絡などを行い、情報を共有できるようにする。

第2学年B組

学級担任 小島 萌

1 学級経営目標

- 個性を認め合い、思いやりの心を醸成する。1年後を想像させ全力で取り組むことの意義を見つけさせる。

2 クラス目標（生徒が話し合いで決めたもの）

～2B～ Beautiful class, Beautiful pencil

3 具体的な目標と取組み

項 目	目 標	（目標を達成させるための） 具体的な取組み
学習指導	○授業規律を守り、集中して取り組む態度を育てる。 ○計画的に学習する習慣をつける。	・ユニバーサルデザインを取り入れ環境整備を行う。 ・自学自習ノートや定期考査計画表を活用する。
道徳教育	○自分と向き合い、深く考え、自己理解を進め、お互いの個性を認め合う態度を育てる。	・誰もが発言しやすい環境作りを行う。 ・一人で考える時間を十分に設ける。
キャリア教育 （進路学習）	○中学卒業後の進路を想像し、何事にも対応できる力を育てる。	・キャリアパスポートを活用し、過去からの成長を発見させる。 ・職場体験では働く意義や将来の職業について考える時間を設ける。
生活指導	○場に適した言葉遣いや行動、服装を考え、規律やルールを守る人間を育成する。	・休み時間や放課後など、生徒との時間を増やし生徒の機微な変化を見逃さないようにする。 ・挨拶をする、バッチをつける、チャイム前着席を徹底させる。
特別活動	○責任をもって行動する生徒を育てる。	・係や委員会などの役割を与え、責任をもって行動できるように声かけを行う。
保護者との連携	○保護者との連携を密に行い、生徒の成長を支援する。	・問題が起こった際には早急に連絡を取り、家庭での様子を聞き保護者とともに指導を行う。

第2学年C組

学級担任 大旗 章代

1 学級経営目標

- けじめがある学級、素直な学級、思いやりがある学級

2 クラス目標（生徒が話し合いで決めたもの）

2っこり うれC 天然水 キズナあるから We can fly

3 具体的な目標と取組み

項 目	目 標	（目標を達成させるための） 具体的な取組み
学習指導	○学習に向かう態度を定着させる。 ○家庭学習に取り組む姿勢を育てる。	・落ち着いて授業に取り組めるよう教室環境を整える。 ・自学自習ノートを活用し、自主的に取り組むことを習慣づける。
道徳教育	○他者を受け入れ、認めあう態度を育成する。	・生徒が考え、議論する時間を積極的に設ける。 ・他者を思いやる態度を育てる。
キャリア教育 （進路学習）	○自立に向けて、将来を見据え自分に合った進路について考えさせる。	・ 職場体験を通して、勤労について考える。 ・ 面談などで今後のキャリアについて見通しをもたせる。
生活指導	○規範意識を徹底する。	・日頃の生活を通して、きまりやルールを主体的に守る姿勢を育む。
特別活動	○自由と自治についての考えを育成する。	・委員会や係活動など、学級の中で一人一役は担い、自分の役割を果たす機会を設定する。 ・学校行事は、クラス全員で取り組んでいけるよう委員を中心に雰囲気づくりを行っていく。
保護者との連携	○保護者と協力し、様々な視点から支援する。	・家庭との連絡を密に行い情報を共有できるようにする。

第 2 学年 D 組

学級担任 澤井 健人

1 学級経営目標

- 「自らを律する心をもつ」 善悪の正しい判断ができ、規範意識を育てる。
- 「自他共存」 支え合い・助け合いの精神を養わせる。
- 「当たり前のことを当たり前にする」 学習面・生活面においても規範意識をもち、自主性を育ませる。

2 クラス目標（生徒が話し合いで決めたもの）

「 さんねんせいの準備 わらいのたえない いちねんせいの手本
たくさんの思い出 けんこう第一 ともだち思い 」

3 具体的な目標と取組み

項 目	目 標	（目標を達成させるための） 具体的な取組み
学習指導	○学習に集中し、主体的に取り組む姿勢を醸成する。 ○学び合いを通じ、成長していかせる。	・毎朝の読書で落ち着いた雰囲気づくりをし、授業に集中できる環境を整える。 ・まずは自分でよく考える。考えたものを他者と比べ、再度自身に戻していく。
道徳教育	○自分自身に向き合う。 ○他者を理解し認め合う力を養う。	・ゆっくり考える時間をつくる。 ・活発な意見交換をおこなう。
キャリア教育（進路学習）	○自分のことを改めて見つめなおし、自分に合った進路を切り拓く準備ができる力をつける。	・上級学校調べや、職業調べなどを通して、進路学習を行う。 ・普段の会話を大切にし、その中でも時折、進路についての話をしていく。
生活指導	○学校や社会のルール等への規範意識をもたせる。 ○生徒の変容に対して、柔軟かつ迅速に対応する。	・石神井西中のルールや社会のルール等、規範意識をもたせる指導を行う。 ・「忘れないぞう」を活用し、生徒理解に努め、指導に生かす。
特別活動	○生徒が自主性を育み、達成した喜びを感じられるように活動を支援する。	・失敗を受け入れ、次にどうするべきかを考えさせ、できるだけ自分たちの力で活動できるように見守る。
保護者との連携	○報告・連絡・相談を密にし、生徒の成長を共に支援する。	・指導上の問題については早期に対応し、保護者と学校とが同じ指導方針をもつようにする。 ・保護者の相談や訴えを真摯に受け止め、共に考えていけるようにする。

第2学年 E 組

学級担任 新野 美紀

1 学級経営目標

- 何事にも全力で取り組み、新たなことに挑戦できる生徒を育てる。
- 1年後の自分を想像し、目標に向かって努力できるようにする。

2 クラス目標（生徒が話し合いで決めたもの） 何事にも全力協力 明るく元気に challenge！

3 具体的な目標と取り組み

項 目	目 標	（目標を達成させるための） 具体的な取り組み
学習指導	○積極的に授業に取り組む姿勢を取る ○自分の意見が言える雰囲気を作る。	•授業前から授業準備をできるようにする。 •自主学習ノートを利用して自学に積極的に取り組む。 •連絡帳を使って、忘れ物をしないようにする。
道徳教育	○個性を認め合い、お互いの意見を真剣に聞く雰囲気を作る。	•何事も自分事としてとらえ、自分の意見が言えるようにする。 •様々な場合を想定し、人の意見を聞いて、考え方の幅を広げる。
キャリア教育 （進路学習）	○進路を意識して、将来の自分について考える。 ○身近な自分の進路について調べ、知識を得る。	•キャリアパスポートを通して、将来について、具体的に考える。
活指導	○規則正しい生活を心がける。 ○身の回りの整理整頓を心がけるようにする。	•日々の様子を見て気になることは伝えたり、考えさせたりする。 •整美などの各委員に呼びかけてもらうように伝える。
特別活動	○係や委員会、班活動など、自分の役割に責任をもたせる。	•必ず振り返りを行い、責任をもつことの大切さを教える。
保護者との連携	○保護者との連携を密に行い、話し合っ て生徒の成長を共に支援する。	•何か起こった時には早急に連絡を取り、保護者と共に考える。